

南砺の「農カフェつなぐ」

店舗前にテラス席新設

朝のセット提供 「密気にせず食事を」

南砺市福野軸屋の農産物直売所「旬菜市场 ふくの里」内にある「農カフェつなぐ」は20日から、「密」を気にせずに楽しめるテラス席を設け、地元のコシヒカリを使ったモーニングセットを開始した。直売所で扱うチューリップやパンジーなども活用し、華やかな空間で地元の豊かな食文化を伝えていく。

食文化伝える

テラス席は、店舗前に4台のテーブルを置き、10人分の座席を設けた。農カフェのプレオープンから1周年の節目に合わせて企画され、「コロナ禍が続いても安心して食事が楽しめるように」と整備した。毎朝15食限定のモーニン

グセットは、塩むすびと地元サトイモを使った団子汁に、デザートや副菜を含めて550円（税込み）で味わえる。ふくの農産加工運営協議会加工部が手掛ける「いもが餅」や「おやき」も販売し、ハンバーガーのように持ち運んで味わえるようにした。

チーフマネジャーの石坂静江さんは「より利用しやすい店舗にして、地元の食の伝承にもつなげたい」と話した。



モーニングセットの提供を受ける来場者 〓南砺市福野軸屋